

付加価値の高いオリジナル製品の開発 「Made in Gifu」にこだわり開発した製品

オフィス家具メーカー等のOEM製品から自社製品まで取り扱うパイプイスの製造メーカー。商品開発から製造組立までパイプ椅子製造の全工程を一貫して行える生産体制を有しており客先の要望にワンストップで対応可能である。3代目女性社長はデザイン経営を目標に掲げ、パイプ椅子の「簡易的な椅子」というイメージを変えるべく、デザイン性や機能性を高めた製品開発に取り組んでいる。カフェ風のショールームを備えたオフィスは「来客者も寛げる空間」と高い評価を得ている。

- 所在地 岐阜県海津市海津町萱野46-1
- 電話/FAX 0584-53-2287/0584-53-2862
- URL <https://www.toyoisu.co.jp/>
- 代表者 代表取締役 伊藤 友美
- 設立 1974年
- 資本金 2,000万円
- 従業員数 28人



特定分野に特化した新製品開発と特定市場への販路開拓

デザイナーとコラボしたオリジナル製品「SARA」を開発。通常パイプ椅子は商業施設や公共施設など不特定多数の人が使用するため汎用性が求められている。これに対し同社では特定のユーザーや利用シーンに特化した製品開発に取り組んでいる。「SARA」は女性の負担軽減を目的とする製品であり、座面の前半分に座ってしまう女性特有の着座姿勢を改善、腰への負担軽減に効果がある。「多様な働き方」の一つとして注目されているホームオフィス市場をターゲットとしている。



デザイナーズチェア「SARA」

県内企業と連携した付加価値の高い新製品開発

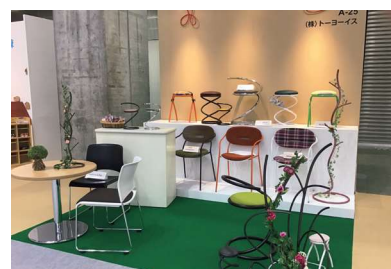
従来のOEM製品はコストダウンのため海外の部材を使用するが、オリジナル製品は岐阜県の製造業界と地域経済の活性化に貢献すべく県内企業との連携を行った。木製品製造が盛んな郡上市の企業には木製の背面プレートを、繊維産業が盛んな大垣市の企業へはファブリック生地の製造を依頼。同社の得意とするパイプフレームにおける3次元曲げ加工の技術と県内産業の技術を融合させ「Made in Gifu」にこだわった付加価値の高い製品が誕生した。



溶接加工の作業風景

販路開拓の足掛りにインテリア・デザインの国際見本市に出展

2018年度には岐阜県の新ビジネス展開応援事業助成金を活用し国際見本市IFFT/インテリアライフスタイルリビングへの出展を行った。これまで展示会出展経験はなかったが、オリジナル製品の開発に伴い展示会に初めて出展した。国内外のバイヤーから3次元パイプ曲げ技術と洗練されたデザインに対し高評価を得たことから、今後は海外展開も視野に入れ、まずは国内市場を中心に販路開拓に向けた事業展開を目指している。



IFFTへの出展